



No.25

げんきカエル



こども病院ニュースレター

病院機能評価を受審して



看護部長 平山 ミツヨ

当院は、平成15年度に病院機能評価を受審し、5年経過した今年度第1回目の更新の時期を迎え、平成21年2月4、5、6日に受審しました。今回はVer5での受審でした。

Ver5では、特に安全安心な医療の提供、患者の権利、倫理、パートナーシップ、患者様を含めたチーム医療の推進、患者サービスなどが重要なポイントであり、ケアプロセスの中から評価していくというものでした。

私は、病院機能評価受審準備委員会副委員長の立場で、準備を進めることになりました。平成20年7月の段階で業者による点検や自己評価によるチェックで、改善を要する部分が数多くあり、審査までに間に合うのかという不安と焦りがありました。しかし、年が明け終盤になると、私の心配をよそにそれぞれの担当者が精力的に取り組み、院長先生を初め、職員はもちろんのこと委託やパートの職員も含め全ての職員が一丸となって病院全体で機能評価に臨むことができました。

日常の業務に忙殺され必要と思いつつもできていなかったことが、今回の受審により見直しを行うきっかけとなり、患者様の権利を守ることや患者サービスへの意識が高まったこと、各部門と

の協力体制ができたこと、病院全体が美しくなったこと、手順・基準の見直しができることなど様々な効果がありました。とりわけ病院全体の職員が一致団結して機能評価受審に取り組んだことが何よりの収穫だったと思います。

また、がんセンターへの2回にわたる見学や看護部・事務部門などからのご教示は非常に有益で、ご多忙の中、対応して下さった皆様方にこの場をお借りしてお礼申し上げたいと思います。

良い結果が出ることを念じつつ、今回の受審の収穫であった職員の一致団結を今後の病院運営に活かしていきたいと思っています。



シアトル小児病院で研修を受けました

診療部 斎木宏文 長谷川大一郎

米国ワシントン州シアトル小児病院と兵庫県立こども病院の姉妹病院協定締結に伴う交流の一環として、診療部より循環器科斎木宏文、血液腫瘍科長谷川大一郎がシアトル小児病院にて4週間の研修を受けて帰国しました。シアトル小児病院は1907年に設立された長い歴史があり、現在も全米で最高ランクの評価を受ける小児病院です。斎木医師は主として超音波胎児



シアトル小児病院風景

診断や心臓移植について、私、長谷川は米国における最新の化学療法や造血幹細胞移植について

学びました。また異なる文化や医療事情に接することは日本の小児医療の良さを再発見する機会ともなりました。



病院内診風景

看護部 本多綾子 東絵理

シアトル小児病院研修を終え、病気を持つ子供と家族に対して、医療に限らず精神的、社会的サポートも充実している点に感心しました。病気を忘れ、子供



入院している子どもたちが遊べる専用スペース

達が子供らしく過ごす事が出来るような工夫がされています。幼児のベビーカーが車の形をしていたり、入院していても外



シアトル小児病院のシンボルマーク(クジラの親子)の前で

で遊べる専用のスペースがあったりします。職員は医療者だけではなく、クリニックラウン、音楽療法士、絵画療法士、ペットセラピスト等がいます。シアトル小児病院とは病院の規模が違うため、設備面で不十分な点があるかもしれませんが、当院でも子供達が子供らしく過ごせるよう、更に努力する必要があると感じました。

麻酔科の紹介

麻酔科医長 香川哲郎

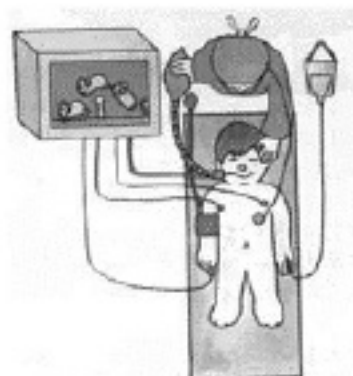
麻酔とは？

手術には麻酔が必要です。子供では、検査や処置などでも痛みや恐怖心を取り除くために麻酔が必要になります。子供の麻酔はほとんどが「全身麻酔」です。



麻酔科医師の仕事は？

手術中に眠ったままでいられるようにすることが一番の仕事ですが、それだけではありません。麻酔で眠ると、痛みにも反応しなくなり、呼吸も不十分になります。手術で出血すれば血圧が下がります。このように麻酔や手術によってもたらされる様々な変化を監視し、体が正常に保たれるようにすることが重要な仕事です。手術の前には患者様を診察して、麻酔や手術に耐えられるかどうかを見ます。手術中は心電図や血圧計などを患者様につけ、ずっとそばで監視しています。また、当院では手術以外にも血管造影検査、MRI検査、病棟での処置等に対しても麻酔を行っています。



どうやって麻酔を行うの？

子供の場合、まず眠くなる薬(吸入麻酔薬といえます)をマスクで口から吸ってもらいます。マスクにはイチゴやバニラの香りを付けることもできます。1分もたないうちに眠ってしまい、その後に注射(点滴)をしますので痛いこともありません。麻酔で眠ると自分で十分な呼吸ができなくなるため、人工呼吸で呼吸を助け、そのまま手術中ずっと眠らせ続けます。手術中は痛みを感じることもなく、記憶も残りません。手術が終わって麻酔の薬の投与をやめれば、しばらくして目が覚めます。現代の麻酔薬は、副作用が少ない安全な薬が用いられています。

麻酔科の医師と患者様・ご家族とはたいていは手術のときだけのおつきあいですが、手術前には麻酔の説明を行いますので、わからないことがあれば何でもご質問ください。

(図は小児麻酔学会のホームページより引用)





核医学装置が新しくなりました！

放射線科 藤井 康司

核医学検査室というのはこどもにとって大きな機械があり、検査中はその機械が近づいてくるのでそれに対する恐怖がおこるため非常に不安を感じます。さらに、検査時間も長いときは1時間近くかかるためじっとすることができず、検査に支障が生じることが少なくありません。

今回装置の更新がありその不安を少しでも解消できるように検査室の壁と床にはペイント、装置本体にはラッコやイルカ、かにや小魚などのステッカーを施し、天井にはテレビを設置しDVDが見られるようになりました。(図参照)

寝ながら好きなDVDが見られるのは好評で、実際検査をしていて不安につながる検査中の動きは改

善されたように感じます。

これからも検査は楽しいと感じてもらえるように工夫していきたいと思います。



Concept

コンセプト

基本理念

周産期医療および小児医療専門施設として、母と子どもの総合的、高度専門的な医療を通じて、親と地域社会と一体になって子どもたちの健やかな成長を目指します。



基本方針

- 1.子どもの権利を重視した医療の実践
- 2.安心と信頼の医療の遂行
- 3.専門的な高度医療の推進
- 4.地域医療・保健・福祉機関との連携
- 5.親と子の健康啓発活動への貢献
- 6.子どもへの愛とまことに満ちた医療人育成

「げんきカエル」で取り上げてほしいテーマがありましたら、食堂前廊下の掲示板にあるテーマ応募箱へぜひお寄せください。

編集後記

今年は季節の変わり目が例年よりも早いようです。この「げんきカエル」が発行される頃には、こども病院のまわりの桜も満開になっているのでしょうか。

「げんきカエル」ではこれからもこども病院のさまざまな情報を提供していきます。ぜひ皆様のご意見やご感想をお寄せください。

今号の担当は高橋でした。

編集委員長: 池沢 美子
編集幹事: 横垣美香子
編集委員: 田中英二郎 藤中 早代 中西亜希子
大中 清文 久布白 歩 長尾 洋
高橋 政博 野口 忍子 谷本江利子
崎吉あけみ 日根結里奈

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院

周産期医療センター 小児救急医療センター

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1
TEL 078-732-6961
FAX 078-735-0910 (総務課)
FAX 078-732-6960 (地域医療連携室)
URL: <http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>
E-MAIL: info_kch@hp.pref.hyogo.jp